

ハンドボール NO.33

第70回国民体育大会 紀の国わかやま国体 ハンドボール競技会 戦評報告書

競技日	平成27年 9月30日	試合番号	C-セ
種別・回戦	成年女子 準決勝	会場	河南総合体育館

鹿児島			熊本			得点チェック欄	
29	13	前半	12	26	前半	<input type="checkbox"/>	
	10	後半	11		後半	<input type="checkbox"/>	
	4	第1延長 前半	2		第1延長	<input type="checkbox"/>	
	2	第1延長 後半	1		第2延長	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 前半			7mTC	<input type="checkbox"/>	
		第2延長 後半			合計点	<input type="checkbox"/>	
		7mTC			記録主任確認	<input type="checkbox"/>	

戦評	戦評委員氏名	辻 凜太郎
<p>鹿児島のスローオフで試合が始まる。開始1分、熊本4番松尾のステップシュートで熊本が先制する。鹿児島も負けじと4番諸岡の突破から7mスローを獲得し、それを3番藤井がきっちり決めて同点に追いつく。その後、両キーパーの好セーブや堅いディフェンスにより両チーム思うように点が入らない展開が続く。15分辺りから鹿児島は4番諸岡、熊本は7番吉田を中心としたオフェンスにより両チーム徐々にシュートが決まり始める。取りつ取られつの一進一退の攻防が続く、13対12の鹿児島1点リードで前半終了。後半、両チーム1本ずつ逆速攻を決めて流れに乗るかと思われたが点差は開かない。鹿児島の10番川崎の退場により、数的有利になった熊本は5番勝連のサイドシュートにより逆転する。しかし、熊本4番松尾が3回目の退場により失格となる。それから鹿児島の連続得点があり点差が開くかと思われたが、熊本の堅いディフェンスがそれを阻止する。ラスト2分で鹿児島2番安倍の執念のシュートが決まり、2点差とするがクイックスタートから熊本3番末吉のシュートで1点差に戻す。ラスト10秒、熊本7番吉田が7mスローを入れギリギリのところで同点とし、延長に突入となる。延長前半1分、鹿児島キーパー12番伊地知が7mスローを止め、流れに乗った鹿児島が3連続得点で突き放す。熊本も食い下がるが、2点差で延長前半終了。延長後半も着実に鹿児島が点を重ね、29対26で鹿児島の勝利となった。</p>		

送信担当記録委員	中本 富基
----------	-------

